

2023年12月5日
株式会社三井E&S
株式会社ゼンリンデータコム

**三井E&Sとゼンリンデータコムが共同開発する「ドローンスナップ」
対応機種にソニー製ドローン「Airpeak S1」がラインナップ
～三井E&S大分工場内のクレーンを対象に実証実験を実施～**

株式会社三井E&S（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高橋 岳之、以下「三井E&S」）と、株式会社ゼンリンデータコム（本社：東京都港区、代表取締役社長：清水 辰彦、以下「ゼンリンデータコム」）は、共同開発中である“ドローン自動飛行点検ルート生成アプリ”「ドローンスナップ」とソニーグループ株式会社のドローン「Airpeak S1」との連携が可能なことを確認し、ドローンスナップ対応機種にソニー製のドローンが加わりました。

今回、連携の確認のため、三井E&S大分工場内のクレーンを対象に、以下の実証実験を実施しました。

【実証実験の概要】

1. 実施目的：

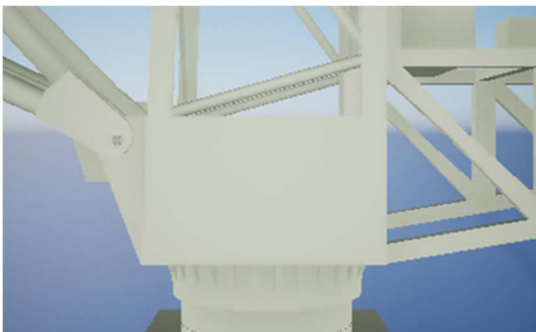
- ① ドローンスナップとのAirpeak S1接続性、飛行の検証
- ② 点検箇所を撮影した画像の品質に関する検証

2. 使用機材・サービス：

- ① ソニー／ドローン Airpeak S1
- ② ソニー／フルサイズミラーレス一眼カメラ α™ ILCE-7RM5
- ③ ソフトバンク／高精度測位サービス（RTK 測位）「ichimill（イチミル）」

3. 検証内容及び成果：

- ① Airpeak S1とドローンスナップとの接続性、飛行の検証
- ⇒ ドローンスナップで設定した撮影予定画像と、同画角で撮影が可能であることを確認



撮影予定画像



撮影結果

- ② 点検箇所を撮影した画像の品質に関する検証
⇒ 目視点検に耐えうる画像を取得可能 (0.3mmのクラックを確認可能)

4. 各社役割：

- ① 三井 E&S：
飛行ルートの設定及び現地でのドローン操作・点検作業
- ② ゼンリンデータコム：
ドローンスナップと Airpeak S1 の連携プログラム作成
- ③ ソニー：
ドローン及びカメラの提供、ドローンスナップと Airpeak S1 の連携支援

ドローンにて自動撮影した画像は、三井 E&S の製品である、港湾クレーン向け次世代遠隔モニタリングシステム「CARMS」やインフラ設備全般向けのドローン撮影画像管理ツール「ドローンスナップクラウド」にて、点検結果とともにクラウドに蓄積することで、効率的な運用管理が可能になります。これらのツール及びドローンスナップは、三井 E&S と、グループ会社の三井 E&S システム技研との共同開発によるものです。また現在、三井 E&S は、撮影した画像を解析することにより、自動で発錆の有無や錆の定量評価（点検箇所に占める発錆量を数値化）が可能になる技術も開発を進めております。

三井 E&S グループは、今後もデジタル技術の活用による人口縮小社会の課題解決に貢献してまいります。

【お問い合わせ先】

株式会社三井 E&S

物流システム事業部 テクノサービスセンター

Tel : 0863-23-2440 E-Mail : mes-drone@mes.co.jp